

○ 委員長報告

9月定例本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和元年9月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、外国クルーズ船誘致促進事業についてであります。

このことについて一部の委員から、今後、どういった誘致をしていくのか。また、クルーズ船のツアーにおける県内周遊にどう取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、ダイヤモンド・プリンセスは、来年も4回寄港する見込みとなっているが、本県のおもてなしや観光地等がクルーズ船関係者から高い評価を得ており、再来年以降の働きかけについては、ダイヤモンド・プリンセスなど欧米豪からの乗客が多い中大型船や、富裕層の多い高級小型船の誘致に取り組んでいきたい。

また、県内周遊については、今年は初寄港ということもあり、多くのツアーが松山市内の観光を中心に企画されていたが、次回以降については、限られた時間の中で県内周遊ができるよう、旅行会社等に対して提案や観光資源のPRを行っていききたい旨の答弁がありました。

第2点は、消費税率引き上げによる影響等についてであります。

このことについて一部の委員から、県内企業への影響はどうか。また、キャッシュレス決済の導入に関する県の対応はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、経済指標から見ると、高額商品の駆け込み需要の動きは、前回の引き上げ時よりも弱く、影響は限定的と考えられるが、県内主要企業に対する影響調査では、日用品関連を中心に、税率引き上げ後の売り上げ減少による悪影響が懸念されるとの回答も寄せられており、引き続き金融機関や経済団体など関係機関と連携してしっかり対応していきたい。

また、国では、キャッシュレス決済の比率を、2025年までに40%、将来的には80%とする目標を掲げており、県としても、この目標の達成に向けて国や経済団体、金融機関等と連携し、県内事業者のキャッシュレス決済導入に向けたセミナー等を数回開催するなどして周知を図っている旨の答弁がありまし

た。

第3点は、公立・公的病院の再編統合についてであります。

このことについて一部の委員から、厚生労働省が公表した、再編統合の議論が必要である再検証要請対象医療機関に、県立南宇和病院が含まれているが、今後、どのように対応していくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県立南宇和病院は、愛南町消防本部による救急搬送の約9割を受け入れており、愛南地域唯一の救急告示病院として、24時間365日地域の救急医療を担う重要な医療機関となっていることから、引き続きその役割を果たすとともに、今後も地域住民に対し必要な医療を提供していく。

また、再検証を行なう地域医療構想調整会議においても、地域の救急医療等を担う県立南宇和病院の役割や機能について十分に説明していきたいと考えている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ G20 愛媛・松山労働雇用大臣会合の成果
- ・ 若年者の県内定着に向けた企業誘致の取組み
- ・ 県立病院における消費税率引き上げの影響
- ・ 肱川発電所更新事業

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。